公衛協発第249号
令和8年10月27日

関　係　各　位

一般財団法人　宮城県公衆衛生協会
会　長　　安　藤　健　二　郎
（公　印　省　略）

令和8年度研修会の開催について（案内）

当協会の事業運営につきましては、平素より格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和8年度公益事業として「健康増進計画へのロジックモデルの活用」と題し、別紙のとおり研修会を開催することとなりました。

公務御多忙のこととは存じますが、是非御参加下さいますよう御案内申し上げます。併せて関係職員への周知方をお願い申し上げます。

なお、申込はＥメール又はＦＡＸで、令和8年11月30日(月)までに申し込み願います。

定員については、会場参加者50名(先着)、オンライン参加者200名を予定しておりますので、会場参加を希望される方はお早めにお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

令和８年度　一般財団法人宮城県公衆衛生協会研修会

１　テーマ：「健康増進計画へのロジックモデルの活用」
２　日　　時：令和８年 12 月９日(水)13：30～16：45（予定）
３　会　　場：ホテルＪＡＬシティ仙台（ハイブリット形式；対面形式とオンライン Zoom 形式）
４　目　　的：健康増進計画を実効性あるものとするためには、目指す姿と具体的な施策、評価指標とのつながりを明確にし、関係者間で共有しながら進捗を評価・改善していくことが重要である。本研修会では、ロジックモデルの基本的な考え方と健康増進計画への活用方法を学び、宮城県内の行政・保険者等における実践事例を共有する。これらを通じ、施策とアウトカムの関係を整理し、適切な指標設定や評価、計画の見直しに活かすための視点を身につけ、地域の健康づくり施策の実効性向上につなげることを目的とする。

５　内　　容

研修テーマ『健康増進計画へのロジックモデルの活用』

総合司会　目時 弘仁 先生　東北医科薬科大学・医学部 衛生学・公衆衛生学教室 教授

◇ **基調講演**　『(仮題) 健康増進計画へのロジックモデルの活用』
武見 ゆかり先生 日本栄養大学副学長・栄養学部 教授

◇ **事例紹介Ⅰ**　『(仮題) 宮城県における健康増進計画の取組』
宮城県塩釜保健所

◇ **事例紹介Ⅱ**　『(仮題) 仙台市における健康増進計画の取組』
仙台市健康政策課

◇ **事例紹介Ⅲ**　『(仮題) 全国健康保険協会宮城支部における健康増進計画の取組』
全国健康保険協会宮城支部

◇ ディスカッション

司　　会　目時 弘仁 先生
パネリスト　武見 ゆかり先生
宮城県塩釜保健所
仙台市健康政策課
全国健康保険協会宮城支部

６　参加対象：宮城県内の公衆衛生関係者及びテーマに関心のある県民の方
７　参 加 費：無　料
８　申込方法：申込書は当協会ホームページ(https://www.eiseikyokai.or.jp) の公衆衛生情報みやぎからダウンロードできます。**Email、FAX にて申込願います。**
９　定　　員：会場 50 名、オンライン 200 名（定員になり次第締め切ります）
１０　申込締切日：**令和８年 11 月 30 日(月)**
１１　参加方法：会場参加の場合、「聴講券」を 12 月４日までに、E-mail 又は FAX にて送信いたします。当日お持ちください。オンライン参加の場合、申込時のメールアドレスに参加者登録用 URL を開催前日までに送信いたします。URL から氏名およびメールアドレスを事前登録願います。後に登録いただいたメールアドレスに開催 URL を送信いたします。
１２　主　　催：一般財団法人宮城県公衆衛生協会
１３　共　　催：宮城県公衆衛生学会
１４　後　　援：宮城県、仙台市

お問い合わせ
〒981-3111 仙台市泉区松森字堤下７番地の１
一般財団法人宮城県公衆衛生協会
TEL：022-771-4722　FAX：022-776-8835
E-mail：jouhou@eiseikyokai.or.jp
担当：総務部　伊藤

申　込　書

※必要事項をご記入の上、E-mailに添付もしくはFAX送信してください。

送信先：一般財団法人 宮城県公衆衛生協会 総務部

E-mail：jouhou@eiseikyokai.or.jp

ＦＡＸ：022－776－8835

「令和８年度研修会参加申込書」

申込日：令和８年　　月　　日

勤務先	
住　所	〒
連絡先	TEL：　　FAX：
E-mail	

参加者	部　署・役　職	氏　名

ご記入いただいた個人情報は、主催者のみで保管し、本人の許可なく第三者に開示・提供いたしません。
なお、個人情報保護法により、出席者名簿の配布はいたしませんので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。